

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1758号	氏名	陳 淳
論文審査担当者		主査教授	金武 洋
		副査教授	兼松 隆之
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 上部尿路の移行上皮癌に対して患者の体位を変える必要のない腹腔鏡下腎尿管摘出術（LNU）改良型アプローチを行ったもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 片側性のハンドアシスト LUN（HALNU）を実施するために、患者は 60 度の斜位の姿勢を保持した。7cm の Gibson 切開を介して、膀胱を切開することなく開腹術により遠位尿管摘出術および膀胱カフ摘出術を行った。次に術者の手を同一の切開部位から腹腔内へ挿入し、腹腔鏡ポートを設けて HALNU を施行したもので、研究方法も妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 通常の開放性腎尿管摘出術と比較して出血量が少なく、経口摂取の再開が早く鎮痛剤の使用量は少なく、退院も早期で正常活動への回復期間が短縮された。これまで報告された他の HALNU に比べても、より簡便である。</p> <p>以上のように本論文は上部尿路の移行上皮癌の外科的手術に貢献するところが大きく、審査員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			